

# 令和2年度の主な事業報告

社会福祉法人多聞福祉会

令和元年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）事業につき、その概要を以下のとおりご報告いたします。

## 【法人本部】

### I. 法人事業の沿革

#### (1) 規程の変更

令和2年	5月	1日施行	「給与・賞与規程」全面改正
令和2年	11月	1日施行	「給与・賞与規程」条文変更
令和2年	12月	1日施行	特別養護老人ホーム「運営規程」一部変更
令和3年	1月	1日施行	「育児・介護休業等規程」条文変更
令和3年	4月	1日施行	「就業規則」「給与・賞与規程」条文変更

#### (2) 役員会

##### 評議員会

令和2年 6月（新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書面審議）  
（報告事項）

- ・令和元年度事業報告の件
- ・社会福祉充実残額についての報告

（決議事項）

第1号議案 令和元年度計算書類・財産目録承認の件

##### 理事会

令和2年 6月（新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書面審議）  
（決議事項）

- 第1号議案 令和元年度事業報告（案）及び令和元年度決算報告（案）承認の件
- 第2号議案 「給与・賞与規程」全面改正についての承認の件
- 第3号議案 定時評議員会の招集の件

令和2年12月（新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書面審議）  
（報告事項）

- ・令和2年度福岡県介護ロボット導入支援事業費補助金交付申請の件
- ・令和2年度福岡県ICT導入支援事業費補助金交付申請の件
- ・令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金に係る交付申請の件

(決議事項)

- 第1号議案 特別養護老人ホーム「運営規程」一部変更についての承認の件
- 第2号議案 「給与・賞与規程」条文変更についての承認の件

令和3年 3月 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書面審議)

(審議事項)

- 第1号議案 令和2年度第1回補正予算(案)承認の件
- 第2号議案 令和3年度事業計画(案)について承認の件
- 第3号議案 令和3年度収支予算(案)について承認の件
- 第4号議案 任期満了に伴う新評議員の推薦について承認の件
- 第4号議案 「就業規則」「給与・賞与規程」の条文変更について承認の件

(報告事項)

- ・「育児・介護休業等規程」条文の変更について
- ・令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金交付決定通知書について
- ・令和2年度福岡県介護ロボット導入支援事業費補助金交付決定通知書について
- ・令和2年度福岡県ICT導入支援事業費補助金交付決定通知書について

## 監事会

令和2年 5月 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書類送付)  
令和元年度の理事の業務執行の状況及び法人の財産状況についての監査

### (3) 法人行事

- ・ふれあい祭り 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### (4) 地域との交流 以下、全て新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- ・広川町 拠点型住民主体の通いの場「水曜にここ教室」
- ・広川町立広川中学校第2学年職場体験学習

### (5) 防災訓練

- |               |        |              |
|---------------|--------|--------------|
| ・ユニット型特養      | 夜間出火想定 | 令和2年 7月22日実施 |
| ・デイサービス(一部訓練) | 通報訓練   | 令和2年10月28日実施 |
| ・特養           | 夜間出火想定 | 令和2年11月25日実施 |
| ・ユニット型特養      | 日中出火想定 | 令和3年 3月24日実施 |

### (6) 職員スキルアップ研修 今年度より全職員WEB研修実施(メディパスアカデミー)

全員共通必須研修

- |                              |                       |
|------------------------------|-----------------------|
| ・ 4月 接遇に関する研修                | ・ 5月 認知症及び認知症ケアに関する研修 |
| ・ 6月 プライバシー保護の取組に関する研修       | ・ 7月 倫理及び法令遵守に関する研修   |
| ・ 8月 事故発生又は再発防止に関する研修        | ・ 9月 緊急時の対応に関する研修     |
| ・ 10月 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 |                       |

- ・ 1 1 月 身体拘束の排除の為の取組に関する研修
- ・ 1 2 月 褥瘡予防に関する研修
- ・ 1 月 高齢者の理解に関する研修
- ・ 2 月 高齢者虐待防止に関する研修
- ・ 3 月 ターミナルケアに関する研修（デイサービスのみ 介護予防に関する研修）

(7) 職員キャリアパスのための資格取得研修

- ・ (株) プレゼンスメディカル  
 〈喀痰吸引等研修〉 介護福祉士 4 名 講義 令和 2 年 1 1 月 1 8 日～  
 令和 3 年 1 月 1 3 日  
 演習 令和 3 年 1 月 2 0 日～  
 令和 3 年 2 月 2 8 日

## 特別養護老人ホーム彌栄苑 令和 2 年度事業報告

### I. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈建物附属設備〉

- ・ 非常用照明本体取替工事 (株) 倉重ポンプ商会  
 令和 2 年 1 0 月 2 6 日取得 ￥770,000
- ・ 空気殺菌清浄機 (浴室前) (有) 日の出商会  
 令和 3 年 1 月 2 5 日取得 ￥880,000
- ・ 無線 LAN 工事一式 リコージャパン (株)  
 令和 3 年 3 月 2 5 日取得 ￥1,298,220

〈器具及び備品〉

- ・ リクライニング車椅子 2 台 麻生メディカルサービス (株)  
 令和 2 年 5 月 2 5 日取得 ￥300,000
- ・ サーマルカメラ 自立スタンド式 (株) セコム  
 令和 2 年 1 1 月 2 5 日取得 ￥253,000
- ・ センサー付ベッド 1 0 台 シェイフ° (株)  
 令和 3 年 3 月 2 5 日取得 ￥3,464,780

(2) 地域との交流

以下の交流行事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために全て中止

- ・ 斗和保育園による誕生会慰問、七夕の慰問、歌と踊りの慰問、クリスマス訪問

### II. 処遇について

(1) 相談支援について

①収入の確保

- ・ 入所率は 99.07%で、目標としていた入所稼働率 92%は、今年度は 89.97%でした。  
 平均入院者数が 4.5 人となり今後の課題が残る結果となりました。

- ・ショートステイ稼働率は平均 79.0%の稼働率を達成し前年度より上昇しました。  
御家族の介護負担軽減を主目的とする事業であり、今後も新規利用の受け入れを積極的に行います。

#### ②各種加算

- ・栄養マネジメント加算・・・管理栄養士を配置して栄養スクリーニング、アセスメントを基に栄養計画を作成しモニタリングを行って利用者様の栄養の把握に努めました。
- ・口腔衛生管理体制加算・・・歯科医師、栄養士、看護職員、介護職員等と共同で経口摂取維持を図りました。
- ・経口維持加算・・・医師の診断結果に基づき、食事形態・食事姿勢・介助方法を決定し、経口での摂取が出来るよう図りました。
- ・療養食加算・・・医師の食事箋に基づき療養食の提供を行いました。
- ・日常生活継続支援加算・・・12カ月の新規入所者総数の要介護度4との割合が70%以上又は新規入所者のうち認知症日常生活自立度Ⅲ以上の方が65%以上であること、その他喀痰の吸引や経管栄養を行う必要がある方が15%以上であることなど重介護及び医療必要度の高い利用者様が増加するなか登録認定行為事業として、医師・看護職員・介護職員による医療連携を図り質の高いサービスを提供しました。

#### ③広報活動

- ・ホームページのサイト訪問数が3,351、ページ閲覧が7,710であり前年度より若干の上昇がみられました。今後も増加するよう工夫します。

#### (2) 処遇計画（ケアプラン）について

- ・施設の理念を目標に、利用者様の個性を尊重し、利用者様・職員共に優しさに溢れる暮らしの場の中で心地よい支援の提供に努めました。

#### (3) OJT活動について

- ・指導システム・指導マニュアルは職員全員への周知徹底を図り、統一した指導を行うよう努めました。
- ・指導職員の質の向上・意識向上に努めていきました。
- ・定期的なオリエンテーションを行い全職員の質の向上・意欲向上に努めていきました。「出来る」「出来ない」を明確化し、統一した処遇を行いました。

#### (4) サービスの質・マナーの向上

- ・支援技術の向上や援助・マナーに関する知識・質の向上を図るため研修計画に則り研修を行いました。
- ・研修で得た知識は全職員で共有し実施していきました。

#### (5) 生活支援サービスの充実

- ・利用者様・御家族・多職種で話し合い作成したサービス計画に基づき利用者様一人一人にあった生活支援に努めました。
- ・現有能力を大切に自立した生活への支援を心掛けるとともに心身の状態観察に努め変化に応じて支援方法の変更・工夫を行っていきます。
- ・利用者様の意向を尊重しながらの支援に努めました。
- ・利用者様・職員とともに、より安心・安全な介助ができるようリフトの活用を推進していきました。

### ①食事について

・栄養、疾病、身体状況に配慮し衛生的で安全な食事を提供しました。

主食・・・常食、二炊き、粥、ミキサー粥

副食・・・常食、軟菜、やわらか、刻み、嚥下

汁物・・・常食、トロミ、嚥下

・利用者様の楽しみのひとつであり喜びであることを認識し、委託業者と連携を図りながら季節感のある食事や行事食の提供を行いました。

・嗜好調査を実施し、メインの選択（肉料理・魚料理）ができる機会を設けていきました。

### ②入浴介助について

・プライバシー確保に努め、くつろげる雰囲気の中ですっきり入浴していただけるよう支援を行いました。

・利用者様の状態に合わせて一般浴・中間浴・特浴を用意し、安心・安全な入浴を行いました。

・利用者様の希望に基づき週に2回以上の入浴を実施し、体調不良時には清拭を行って清潔保持に努めました。

### ③排泄介助について

・定時の排泄介助とともに利用者様の排泄サイクルにあわせた随時の排泄介助を行いました。

・排泄チェックを行い利用者様一人一人の排泄サイクルの把握に努め、利用者様一人一人にあったパンツ・オムツ・パッドの検討を行い、オムツ外しへ向けて積極的に取り組みました。

・排泄委員会を中心に定期的なオムツ研修を行い、より個別ケアに向けた活動を実施しました。

### (6) 健康維持

・利用者様の心身の状態を的確に把握し、嘱託医師や協力病院との連携を密にし適切に対応しました。

・年に1回、定期健康診断を行い利用者様の健康管理に努めました。

・褥瘡の早期発見・早期治療に努めました。

## 彌栄苑デイサービスセンター 令和元年度事業報告

### I. 事業所の概要

(1) 定員	20名
(2) 営業日	月曜日～土曜日
(3) 営業時間	9:00～18:00
(4) サービス提供時間	
通所介護	9:40～16:45
総合事業	9:40～15:30（筑後市、広域連合柳川・大木・広川支部）
(5) 加算	
通所介護	個別機能訓練加算Ⅰ・入浴介助加算・サービス提供体制加算Ⅰ
総合事業	運動器機能向上訓練加算・サービス提供体制加算Ⅰ

### II. 事業所の沿革

(1) 独立行政法人福祉医療機構（設置・設備資金借入金）

平成31年 5月10日 第28次借入金元金・利息償還実施 [¥1,844,480]

令和元年11月10日 第29次借入金 利息償還実施 [¥ 70,400]

(2) 地域との交流

・ 広川町地域介護予防活動支援講師派遣事業

職員（介護福祉士・シナプソロジーインストラクター）2名 登録

派遣	長延公民館	令和元年	4月10日
	鬼の淵公民館	令和元年	5月12日
	内田公民館	令和元年	5月16日
	吉里公民館	令和元年	6月14日
	扇島公民館	令和元年	7月17日
	北新代公民館	令和元年	8月 7日
	高間公民館	令和元年	9月17日
	北新代公民館	令和元年	1月 8日
	清楽公民館	令和元年	1月24日
	梯公民館	令和元年	2月 4日

・ 広川町老人クラブ サロン活動における交流会に参加（シナプソロジーの実施）

	清楽公民館	令和元年	5月15日
	緑ヶ丘公民館	令和元年	5月16日
	太原公民館	令和元年	9月20日
	川瀬公民館	令和2年	2月17日

・ 斗和保育園 クリスマス訪問 令和元年12月25日

### Ⅲ. 日課について

(1) 送迎介助

可能な限り、利用者様の希望時間に迎えが出来るよう配車及び運行ルート調整を行い、ご自宅から事業所までの安全運転の確認を行いました。

(2) 入浴介助

入浴前にバイタルチェックを実施して特変の無い場合は、同性介助にて入浴を実施しました。歩行困難な利用者様には、入浴用車いす（シャワーキャリー）にて移乗介助を行い、安全な移動とスタッフの介助により入浴していただくことができました。入浴の为一連動作は、利用者様の残存機能を活用したうえで、ご自身で洗身、洗髪をして頂きました。皮膚観察を行い、皮膚の異常があれば御家族に報告を行いました。また持参の軟膏があれば、スタッフや利用者様ご自身で塗布し、その結果の観察に努めました。

(3) 排泄介助

尿意・便意の訴えの無い利用者様には、排泄感覚を取り戻すことができるようトイレへの誘導の声掛けと排泄間隔の把握に努めました。

(4) 食事介助

サービス担当者会議において嗜好調査及びアレルギーの有無等について確認を行いました。また必要な利用者様には、減塩食や腎臓病等の食事を提供しました。食事の感想や御意見等を管理栄養士や給食委員会等で報告し委託の給食会社により改善を図っていただきました。

口腔機能の維持を図るため、食事前に耳下腺マッサージやパタカラ体操を実施しました。

#### (5) レクリエーション

手先のリハビリを兼ねて、簡単な作品づくりをスタッフとともに実施しました。季節感を感じられるような内容を心掛けて、花紙づくりや塗り絵、手作りおやつ等を毎月実施しました。

レクリエーションの内容として、個人競技（巨大ジェンガ、ポーリング、輪投げ、玉入れ、ボール回し等）を実施し、脳トレーニングでは（言葉あつめ、トランプ、難読漢字、ことわざ、ビンゴ等）を実施しました。

定期的に慰問を受け入れ、音楽のリズムや踊りを楽しまれました。毎月1回、近隣の斗和保育園からの慰問は、園児と手を取り合って触れ合い、利用者様が笑顔で過ごされました。

#### (6) 個別機能訓練

主に午前中は集団体操、午後からはリハビリ室での個別リハビリを実施しました。利用開始にはアセスメントを行い、個別に設定したリハビリメニューで実施することができました。個別機能訓練計画に沿って3か月毎の評価、見直しを行いました。その結果、身体機能の維持向上が見られた利用者様がいる一方で、入院により再度計画を見直した利用者様もおられました。

#### (7) シナプソロジー

個別や集団でのシナプソロジーを行い、脳活性化の刺激を受けていただきました。戸惑いや混乱したときには、利用者様の笑顔が見られました。利用者様同士での触れ合いとして実施できました。

#### (8) 年間行事

4月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、大正琴慰問、誕生日会
5月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、誕生日会
6月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、大正琴慰問、誕生日会
7月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、スイカ割り
8月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、誕生日会
9月	川瀬北コスモス会慰問、誕生日会、敬老会
10月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、道優会慰問、大正琴慰問、鶴の会慰問、誕生日会
11月	コスモス見学、音楽21慰問、斗和保育園児慰問
12月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、大正琴慰問、クリスマス会、誕生日会
1月	川瀬北コスモス会慰問、音楽21慰問、成田山初詣、誕生日会、松鳳山関慰問
2月	九州プロレス慰問、大正琴慰問、梅花見、誕生日会
3月	誕生日会

- ・ 誕生会について・・・利用者様一人ひとりの誕生日に合わせて、利用日または利用日前日に皆で誕生会を開催しました。
- ・ 令和2年3月の外出や慰問は、新型コロナウイルスの影響で、中止となりました。

## I. 基本方針

介護保険法に基づき、認知症により居宅での生活が困難な高齢者に対し、住み慣れた町で家庭的な雰囲気のもと安心して自分らしく暮らし続けられる様、適切な介護や援助をしながら食事の準備、清掃及び洗濯などの家事を職員と利用者様が共同で行うことにより認知症の進行を出来るだけ穏やかにし、利用者様の社会的孤立の解消に努めました。

## II. 事業所の沿革

### (1) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

- ・居室（ひなぎく）、職員室 空調機更新 三和冷暖房株式会社  
令和元年 7月25日取得 ￥529,200
- ・居室（すずらん、さざんか） 空調機更新 三和冷暖房株式会社  
令和2年 1月27日取得 ￥539,000

### (2) 地域との交流

- ・斗和保育園 節分 訪問 令和2年 2月 4日

## III. 処遇について

### (1) 個別援助計画

- ・新規の利用者様に対しては、心身の状況等を把握することに努め、御本人や御家族の思い、希望や意向を反映できるような支援の方法を職員の間で十分協議することに努めました。
- ・定期的に会議を実施して個別援助計画の実施状況の把握を行い、変更の必要性が生じたときは、速やかに見直しをするよう努めました。
- ・個別援助計画の重要性を全職員が認識して情報の共有化に努め、できる範囲で個々のニーズに即した形でサービスを提供しました。

### (2) 生活相談

- ・利用者様、御家族から介護サービスについて要望があった場合は、迅速かつ適切に対応するよう努めました。

### (3) 生活援助

- ・利用者様の身体機能及びその能力に応じた日常生活の援助に努めました。
- ・利用者様へ満足度チェックのアンケートを実施し、要望や趣味又は嗜好に対して可能な限りでの生活支援に努めました。
- ・家族会を通じて、利用者様と御家族との連携を図るとともに、交流等の機会を確保するように努めました。

### (4) 機能訓練

- ・生活リハビリとして、家事等を日常生活の中で可能な限り行い、メリハリのつく生活を心がけて生活意欲の低下防止に努めました。
- ・個別レクリエーションの強化として、利用者様一人ひとりの能力に合わせて実施計画を作成しました。職員が個別に動作訓練・身体機能訓練を行い、脚力低下・予防・維持に努めました。



・集団リハビリでは、利用者様全員で体操やストレッチをすることで刺激を与え、身体機能の維持・向上に努めました。

(5) 職員の質の向上

- ・内部、外部研修に参加し、職員自身のスキルアップに努めました。
- ・サービスの質の確保と向上を図る目的として、年間自己評価及び第三者による外部評価を受け、利用者様と御家族の信頼を高めるよう努めました。

(6) 地域社会との連携

- ・近隣の斗和保育園の園児から訪問をしていただき、交流を図りました。
- ・「ふれあい祭り」を開催し、地域住民との交流を図りました。

〈利用者様の利用状況〉

退去者・・・	令和元年	5月31日	(介護3)	女性)
	令和元年	5月31日	(介護4)	女性)
入居者・・・	令和元年	6月8日	(介護2)	女性)
	令和元年	6月9日	(介護1)	女性)

〈運営推進委員会〉

開催日・・・	令和元年	5月17日	令和元年	7月31日
	令和元年	9月25日	令和元年	11月27日
	令和元年	1月24日		
	令和2年	3月	は、新型コロナウイルスの影響で、中止	

〈家族会〉

開催日・・・	令和元年	4月
--------	------	----

〈行事及び外出〉

4月	家族会、外出（桜花見）、ふれあい祭り
5月	端午の節句、母の日、外食会
6月	ドライブ
7月	七夕
8月	物故祭
9月	敬老会、誕生会、外出（灯籠人形見学）
10月	外出（コスモス花見）、誕生日会
11月	外出（银杏見学）
12月	誕生日会、クリスマス会
1月	外出（成田山初詣）、七草粥、鏡開き
2月	誕生日会、節分
3月	ひな祭り、誕生日会

## ユニット型特別養護老人ホーム彌栄苑 令和元年度事業報告

## I. 事業所の概況

平成26年2月に開設し、令和2年3月で7年目を迎えました。今年度は、利用者様の退去に伴い新しく4名の方が入居されました。平均要介護度は令和2年3月現在で3.7となり、平均年齢は85.1歳となっています。

## II. 事業所の沿革

### (1) 独立行政法人福祉医療機構（設置・設備資金借入金）

平成31年 4月10日～令和2年 3月10日

第69次～第80次借入金元金・利息償還実施 ￥14,996,478

### (2) 佐賀銀行 津福支店（長期運営資金借入金）

平成31年 4月25日～令和2年 3月25日

第64回～第75回借入金元金・利息償還実施 ￥ 4,330,827

### (3) 固定資産取得

〈器具及び備品〉

・防災用携行型発電設備 (株)井手電工

令和元年 1月27日取得 ￥ 248,050

### (4) 指定介護サービス事業所 指定更新通知 令和2年2月1日～令和8年1月31日

・福岡県保健医療介護部 介護保険課 指導監査第一係 令和元年10月16日調査来苑

### (5) 地域との交流

・斗和保育園 クリスマス会 令和元年12月25日訪問

## III. 処遇について

### (1) 入浴

利用者様の体調や希望に沿うように湯温や時間等を配慮して支援を行いました。

### (2) 食事

ユニットごとの炊飯や温め、配膳を行うことでより温かい食事を召し上がって頂いています。

食事の内容に対して意見や要望が出された場合は、管理栄養士と連携して随時、もしくは給食会議等で相談・改善を行いました。利用者様が給食以外の食物を希望されることもあり、各ユニット手作りおやつや外食会、手作りおかず、出前、お誕生日には好物でお祝いする等の工夫を凝らし、ユニット毎に特徴のある活動を行いました。その活動の際に利用者様の中には、準備や配膳、後片付けへの参加が定着化している方がいます。他の方が参加される事でできないと思われていた利用者様が家事活動に参加できた時には、利用者様の残存能力を引き出すことの重要性を実感しました。

### (3) 暮らしの継続

ユニット最大の目標である「暮らしの継続」については、職員全体で意識しています。入院等で基本的な生活のリズムが失われている状況であっても聞き取り項目を設けて、できる限り本来の御本人のライフスタイルに近づけるよう配慮しました。利用者様から相談を受けた場合は、その都度改善に向けた対応を行っています。利用者様同士や職員に対してのトラブル等があった場合は、速やかに対応して終結に努めました。御家族とは、連絡や情報の共有、面会等多くのご協力をいただきました。また、行事等にも多数ご参加いただき御家族と思いを共有することができました。

### (4) 健康管理

医療面においては看護師と連携してより専門的な視点で病状の把握、管理を行いました。嘱託医、受診先の医師への状況報告や投薬の管理、緊急時の対応、健康診断なども含めて把握をし、必要な場合は、御家族への報告を行いました。

看取りについては、嘱託医よりターミナル期が近づいていることを御家族にお伝えし最期まで施設でと希望された御家族とは寄り添いながらできる限りのケアに当たらせていただきました。本年度において1名の方が当苑での看取りを希望され最期の時を御家族、職員と共に過ごさせていただきました。御家族と寄り添うことで思いを知り、寄り良い看取りについて沢山考え、学ぶことができました。今後も御家族と寄り添う姿勢でケアに当たりたいと思います。

#### (5) 機能訓練

利用者様の重度化に伴い認知症の周辺症状が表出しやすくなっています。脳活性を目標に日々の暮らしの中で計算問題やパズル等身近なものを使いながら取り組むことができました。

#### (6) 行事・クラブ活動

ユニット毎に様々な行事を行いました。利用者様の状態やパーソナリティによって行事の内容も各ユニットでそれぞれ異なります。各ユニットとも会議等において利用者様の満足できる行事やレクリエーションができていますのか意見交換しながら創意工夫を凝らしました。

全体の行事としては、川瀬北大正琴の慰問と斗和保育園からの慰問が隔月で行われており、敬老会や花鳥風月会などの行事に取り組みました。敬老会では、音楽21様による演奏会が毎年恒例になっており、御家族も楽しく過ごされています。次年度の敬老会を既に楽しみにされている利用者様、御家族の要望にお応えし今後も御家族参加型の行事を継続していきます。

クラブ活動については各ユニット主催で開催しています。花ユニットは、カラオケクラブ、鳥ユニットは、レクリエーションクラブ、風ユニットは、書道クラブ、月ユニットは、絵手紙クラブとバラエティに富んだ活動ができました。他のユニットの利用者様や職員とのコミュニケーションも図れて交流することができました。

#### (7) 職員について

一昨年、全てのユニットリーダーの配置転換を行った事に加えて今年度は、ユニットリーダーの1名が特養事業所へ異動、それに伴い新しく1名のユニットリーダーが就任しました。それぞれのユニットでは、利用者様のニーズに応えるべく職員間で何度も話し合い工夫してより良い生活の場を提供するために風通しの良い人間関係の形成に力を入れています。

また利用者様、御家族、職員の関係が近いことで連携が取りやすくなっています。各ユニットの雰囲気大切にしながら月間目標を立てて、職員全体がベクトルを合わせ達成の状況をリーダー会議で報告できるような体制を継続していきます。

## IV. 各ユニットより

(花ユニット)

今年度、季節ごとに苑内での活動や外出、外食等の行事を実施しました。全員での活動は出来ましたが、個別のレクリエーションが充実できませんでした。今後は全員での活動も行いながら利用者様個々に楽しんで頂けるような活動を提供していきます。また、職員が不足していた時期に個々のケアより業務が優先になることがありました。今後は、利用者様一人一人の状態に合わせた生活の場を楽しんで頂けるよう職員間でさらに工夫していきます。職員一同、力を合わせて利用者様に満足して頂けるようサービスの提供に努めます。

#### (鳥ユニット)

年度初めより利用者様、職員とも同じ顔ぶれだったため、落ち着いた環境でゆっくりと交流を図ることができました。7月より職員が1名増えたことで、毎月の行事もより楽しく過ごすことができました。外出等は出来ませんでしたが、ユニット内でのレクリエーションやおやつ作りなどで利用者様の笑顔が見られ、会話も弾んで楽しまれていました。

入院される方もあったことから利用者様に対しての健康管理については、さらに努めて多職種との連携を図り来年度は入院される方の軽減を目指します。また、体調不良を起こす職員もあったので、今後は職員一同、体調管理に努めていきます。次年度では、ユニット間の情報を共有し利用者様の気持ちを尊重して、ニーズに応じた生活の場を目指して笑顔で楽しく過ごしていただきます。

#### (風ユニット)

今年度は、利用者様と職員が顔なじみとなって交流が行いやすく、会話やレクリエーションなど行事を通して笑顔で過ごすことができました。

昨年同様に月1回程度で手作りおやつを実施しました。利用者様自身に作って頂いた中、失敗したりすることもありましたが、その失敗も楽しい出来事として笑顔が生まれていたため良い交流ができました。職員が業務に追われ利用者様と関わる時間が減っていると感じたときには、すぐにユニット内で話し合いを行い、業務改善を図ることによって利用者様と関われる時間を増やしました。また、業務改善を行ったことによりレクリエーションの活動を行う機会が増え、職員と利用者様との関わりがより深くなりました。今後も紙芝居や歌、風船バレーなどを実施して利用者様に楽しく過ごして頂けるよう心がけていきます。

職員全員が団結して意見を出し合い利用者様のことを第一に考えた結果、笑顔溢れる環境が出来ています。利用者様がどういう事を希望されているのか目配り気配りを行うことでより良い環境づくりができるようにしていきます。

#### (月ユニット)

今年度は、月1回のおやつ作りや外出をして外食をするなど利用者様に楽しんで頂けるイベントを計画し、なるべく実施できるように努めることができました。

職員の異動があったため、職員間の情報共有に努め意見交換を行うことで利用者様に不安を与えることなく過ごしていただきました。利用者様の要望や訴えを尊重し、その方らしく生活できるよう努めました。また、個別での立位訓練や歩行訓練等プランに沿った対応も実施できました。職員同士の報告・連絡・相談を大切に、利用者様が楽しく笑顔で過ごして頂ける暮らしの場をつくっていきます。